

## 2019 年度実施事業に係る訪問調査報告

### 静岡県留学生等交流推進協議会

日時	令和元年 12 月 21 日 (土)
場所	静岡県焼津青少年の家
概要 :	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業名 : 「お隣さんは外国人ー世界で、故郷で、ー (話っ、輪っ、和っ! 2019)」</li><li>・ 参加対象 : 静岡県内の大学に在籍する留学生及び日本人学生、地域住民等</li><li>・ 参加者数 : 約 105 名</li><li>・ プログラム : グループトーク<ul style="list-style-type: none"><li>【トークテーマ】「もっとずっと仲良くいよう」、「知り合いと友達の間」、「俺を信じてくれ!」</li><li>「大切な日に何をあげる?」、「異文化から友達を作ろう!」、「国際恋愛に興味はありますか」</li><li>「日本人と外国人の壁をなくすには。。。」、「若者の起業」</li></ul></li></ul> <p>静岡県留学生等交流推進協議会では、留学生と日本人学生が静岡県という同じ地域で学ぶ仲間として知り合い、身近な話題から国家間の問題まで、それぞれの視点から語り合い交流することを目的として本事業を毎年開催している。今年度は大きなテーマを「お隣さんは外国人」として、グループトークでは、トークテーマごとに 8 つのグループに分かれ、グループリーダー (実行委員) を中心に交流を深めながら、自国や異文化、将来などについて話し合いを行い、外国人との付き合い方や人間関係の構築について議論を深めた。その中には社会人アドバイザーも参加しており、学生とは違う視点で意見を述べることで適宜サポートを行っていた。同世代の者として、互いに経験を紹介したり意見を交わしたりする貴重な機会であり、様々な手段を駆使して意思疎通を図るなど、参加者全員が積極的に取り組む姿が印象的だった。そして、本事業は大学生が実行委員として企画・広報・運営等を行っており、大学生自らが国際交流・地域交流の機会を作っている点も特徴の一つである。大学生による大学生のための企画を成功させるために、実行委員会として約半年かけて会合を重ねて準備を行い、大学や国籍の枠を超えて協力し合いながら主体的に活動することは、大きな学びにつながっていると思われる。</p>